

オランダ語 入門： 難しいかな？オランダ語

授業概要

江戸時代の鎖国政策のなか、唯一ヨーロッパの風を日本にもたらした国がご存じのとおりオランダです。日蘭通商も四世紀の長きを超えた21世紀の今、EU（欧州連合）となったヨーロッパを理解するためには、大国とは言えなくともその中核となっているオランダを知ることが大きな意味をもつでしょう。この授業は『21世紀の蘭学事始』とも言えるかもしれません。オランダ語に関する知識が全くない人がオランダ語のいわば「基礎の基礎」を学習するためのものです。オランダの歴史や文化・学問に関心のある人、オランダの大学に留学したい、オランダに旅行に行ってみたい、動機は何であれ学習したいという意欲ある人は大歓迎です。英語やドイツ語などとは違った「メジャーでない言語圏」から世界を見る目を養うことも、この授業に込められた重要な点です。

到達目標

「読む・書く・聴く・話す」のすべてを大切にしたいと思いますが、言葉の骨格である文法と最低限の語彙を確実に身につけることがやはり何よりも、そこに重点を置きます。この授業をまじめに受講してもらえば、オランダ人とオランダ語で簡単なやりとりがいくつかのパターンでできるようになるでしょう。また、それは同時に、週に1回だけのこの授業を学修した後で、次に皆さんが継続発展させるオランダ語の基盤となることを目指しています。「継続は力なり」は、語学学習にとっては黄金律です。毎回欠かさず出席して確実に復習すれば、問題なく目標に到達することができます。

江口 豊

メディア・コミュニケーション研究院 教授

授業計画

この演習は「入門」レベルですから、予備知識ゼロからオランダ語を学びます。

- 1 最初に文字と発音をしっかり身につけてしまいましょう（オランダ語特有の音に慣れてしまえば、発音の決まり事は却って英語などよりはるかに規則的です）。
- 2 発音習得が終われば、教科書に沿ってワンステップずつ学習していきます。教科書の学習素材以外にも、できるだけ多彩な練習を用意しています。

- 3 後半慣れてきたところで、ペースを上げることができるかもしれません（学習者の熱意にも左右されますが）。

なお、週1回の授業であるため、参加者には積極性が求められます。予習はまったく求めませんが、復習は欠かせません。課外学習用の課題なども必要に応じて課していきます。辛くともこうした課題に取り組まないと授業にはついていけないでしょう。

尚、ドイツ語の知識や学習経験があるとオランダ語にアプローチしやすいのは事実ですが、それを予備知識として想定しません。今までの外国語学習歴はまったく問いませんので、どなたでも「好奇心」と「やる気」を胸に教室をのぞいてみて下さい。

成績評価

演習形式の授業であるため、授業への積極的参加を重視し、平常点（出席率・講義への取り組み・小テスト・課題提出等を含む）20%、達成度を測る複数回の試験（筆記もしくは口頭）80%を目安に評価します。漫然と15回の授業に出席すれば単位が取れると考えている学生にはまったく不向きな演習であることを肝に銘じて下さい。